

小島地区ふれあいセンターだより

令和5年7月 第397号 運営委員会発行

愛宕3丁目10-2 電話826-7703



7月の行事予定

※毎週月曜日は休所日です。

開催日	行事名
4日(火)	小島地区ふれあいセンター運営委員会 午前10時～11時
5日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業) 午前10時～12時
7日(金)	子育て教室 午前10時～11時30分
11日(火)	小島中学校区青少年育成協議会
12日(水)	小島愛宕地区老人連合会定例会議 午前10時～11時
19日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業) 午前10時～12時
22日(土)	小島地区民生委員児童委員協議会定例会 午前10時30分～12時
25日(火)	小島地区連合自治会連絡会議

【お知らせ】

文化庁委託事業「伝統文化親子日本舞踊教室」(参加費は無料)の御案内

☆小島地区ふれあいセンターの活動グループ「実花会(みはなかい)子供日本舞踊教室」では、7月から、令和5年度 文化庁委託事業の「伝統文化親子日本舞踊教室」を開催します。

【説明会】 日時：7月6日(木) 午後4時～5時

場所：小島地区ふれあいセンター 第1研修室(長崎市愛宕3丁目10番2号)

練習場所 小島地区ふれあいセンター 第1研修室

練習日時 月3回木曜日 午後4時～6時 令和5年7月～令和6年1月(約20回)

内容 日本の伝統文化である日本舞踊を体験して、知ることによって日本の心を学びます。
日本舞踊を踊ってみませんか♪

対象 幼児(4歳から)、小学生(10名～15名)

服装 浴衣、足袋(靴下でも可)

参加費 無料

指導 花柳 孝光央(はなやぎ たかみつお)先生(吉村由実)

※入会申込書は、小島地区ふれあいセンターに置いてあります。

(問い合わせ先) 電話095-822-8861(吉村)

携帯090-8400-9301(吉村)



お気軽にご参加ください!! 見学も、いつでも可能です。

「春の歴史探訪」講座について

小島地区ふれあいセンターの主催講座「春の歴史探訪」は、五月六日（土）に開催を予定していましたが、あいにく雨天だったため、五月二十日（土）に延期して実施しました。

講師には、テレビ等でお馴染みの山口広助さんをお迎えしました。

当日は、二十七度を超える夏日でした。

参加者（二十二名）及びスタッフは、田上バス停に集合して、田上寺（でんじょうじ）や徳三寺など、田上界隈を散策しました。

参加者の皆さんは、講師の説明を興味深く聞きながら、午後のひとときを楽しく過ごされました。



長崎雑話（2） 竹方其

丸山遊女と絵踏（三）

現在、東京国立博物館に十九枚が保存されている。長崎奉行所には三十枚が保管されていた。

さて、長崎における絵踏の行事であるが、正月四日の早朝より長崎奉行所の正門が八文字に開かれ、日頃、蔵にしまわれていた踏絵三十枚が奉行家老の手によって出され、年番町年寄に渡され、町年寄その家老から絵踏みが始まり、各町内へ廻り、八日が丸山寄合町、そのあと九日が銅座跡そして十一日から長崎村十三郷、浦上山里村六郷、浦上淵十三郷において行われた。

正月八日は、遊女らは美しく化粧し、麗しく着飾り、それぞれの店に居並び、町役人が遊女の源氏名を一人一人読上げ、素足で白い艶かしい右足で踏む。

この日、一般市民の最後の絵踏であったので、市中より丸山遊女の絵踏衣装を見物に出かける者が多かった。

丸山遊女の絵踏は、末代までの語り草となった。

遊女たちは寺社詣での際にも美々しく着飾っていたが、絵踏の日は特別で華美を極め、絵踏衣装といわれるようになった。

長崎の富貴なる者、馴染みの旦那衆・唐人・阿蘭陀人は、贅をつくして遊女に衣装を贈り、自己の分限を誇るような風もあった。



絵踏

南山手界限、近隣めぐり①

○長崎地方気象台

グラバー園出口より左折し、グラバー通りを進みます。

右下に長崎地方気象台が見えます。平成25年(2013)9月30日に組織改変により、長崎海洋気象台から組織・名称が変わりました。桜やアジサイの開花宣言は、ここの基準木の開花により宣言されています。

○旧紅葉(ゆずりは)病院 道路が別れ、左方に進みます。右方はロシアコンスイ坂と云われます。

左側角に旧紅葉病院が見えます。旧本館、別館が並んで建っています。

○旧本館は、旧英国領事館の職員住宅でした。居留地時代の和洋混合建築の面影を強く残した建物となっています。

○別館は旧レスナー邸といわれ、明治16年から35年に建築されました。

・持ち主のシグマンド・デービッド・レスナーは、ルーマニア生まれで、オーストリア国籍のユダヤ人で明治12年に長崎を訪れ、梅ヶ崎居留地の活水下の裏門一帯で、貿易雑貨商として居留地内の帰国者の家具などのオークションを営み、莫大な財産を築きました。

・この邸宅の特に素晴らしいのは、玄関や廊下、暖炉脇に敷き詰められた花模様などのタイルの美しさと云われています。

・梅ヶ崎に建てられたユダヤ教の教会で、神父も務めたといわれ、60歳で死亡(大正9年2月24日)。坂本国際墓地内のユダヤ人墓地に埋葬されています。

○マリヤ園跡

右手道下に「マリヤ園」跡が見えます。大きな木に抱きかかえられ建つレンガ造りの洋館。明治31年(1898)にマリヤ会修道士により建築されました。

重要文化財「旧グラバー住宅」、国宝「大浦天主堂」等と共に、国選定重要伝統的建造物群保存地区の伝統的建造物に特定されています。

南山手界限、近隣めぐり②へ

長崎雑話(2) 竹方其

丸山遊女と絵踏(二)

長崎奉行 馬場三郎左衛門の頃、丸山という野地に太郎兵衛 妙介、藤十郎の経営する三軒の遊女屋があつて、「山の三軒屋」 または太夫町と称していたが、寛永十四年(一六三七)の火事によつて焼失し、再興されなかつた。その後、寛永十九年(一六四二)今博多町にあつた遊女屋が移転して丸山町ができた。

また、新紙屋町・新高麗町・大井手町・今石灰町に散財していた遊女屋が寄り合つて、それまであまり人家のなかつた市街地はずれの空地に移され、花街という特殊な空間が設けられた。こうして、遊女町は散娼時代から集娼時代へと変わつていった。集娼化は、長崎奉行にとつても、治安維持と風俗統制にとつて、この上もないことであつた。

この両町は、堀で囲まれていて、小島へ至るところに「あかずの門」、丸山入口に「二重門」があり、まさに堀で囲まれた特殊な空間であつた。

この遊廓にも幕府の禁教政策は断行された。いわゆる、キリスト教の信者を発見するために行われた「絵踏」である。

絵踏を用いる画像を「踏絵」といい、はじめは、信者から没収した紙・布の画像を用い、その後「板踏絵」十枚が使用された。寛文九年(一六六九)本古川町の萩原祐佐に命じて真鍮の踏絵二十枚が造られた。

踏絵





〈新着図書のご案内〉

	書 籍 名	著 者 名	出 版 社
一 般 図 書	うつけ者の値打ち	辻堂 魁	祥伝社
	震撼の太刀	上田 秀人	徳間書店
	ほたる茶屋	藤原 緋沙子	KADOKAWA
	渡り鳥たちが語る科学夜話	全 卓樹	朝日出版社
	楊花の歌	青波 杏	集英社
	本売る日々	青山 文平	文藝春秋
	天路の旅人	沢木 耕太郎	新潮社
	148cm ディレクターと学ぶ小柄が輝くおしゃれの本	田中 絢子	主婦の友社
	夫が、妻が、自分が、親が「まさかのときに備える」知っておきたい遺族年金	脇 美由紀	ビジネス教育出版社
	博多那珂川殺人事件	梓 林太郎	祥伝社
	長崎散策 その2	宮川 雅一	出島屋プロダクション
	長崎散策 その3	宮川 雅一	出島屋プロダクション
	令和四年の長崎精霊流し	土肥原 弘久	ゆるり書房
	芝浜	山本 一力	小学館
	みれん堀	稲葉 稔	光文社
	どんどん仕事はかどる「棒人間」活用法	河尻 光晴	青春出版社
	NHK受信料の研究	有馬 哲夫	新潮社
	世界一細かすぎる筋トレ栄養事典	岡田 隆	小学館
	回樹	斜線堂 有紀	早川書房
	ザ・ミッション	堂場 瞬一	実業之日本社
	成熟スイッチ	林 真理子	講談社
	三年長屋	梶 よう子	KADOKAWA
	文系のための東大の先生が教える宇宙の終わり	横山 順一	ニュートンプレス
	「ヘアゴム」だけ！女の子のヘアアレンジ	KOMAKI	エクスマレッジ
	人生をゆるめたら自分のことが好きになった	小瀬古 伸幸	KADOKAWA
	島にゃんこ	simabossneko	ワニブックス
	脳科学の先生！子どもの発達障害の悩みを最新研究で解決してください	久保田 競	KADOKAWA
	夜のだれかの岸边	木村 紅美	講談社
	魔女と過ごした七日間	東野 圭吾	KADOKAWA
	主よ、永遠の休息を	誉田 哲也	中央公論新社